

令和2年度 千葉市大学市長賞受賞者一覧

番号	大学・短期大学名 (学部・学科)	ふりがな 受賞者氏名	推薦理由概要
1	植草学園大学 保健医療学部 理学療法学科	たけだ ななみ 武田 七海	<p>本学が千葉市指定の「拠点福祉避難所」での運営訓練において、地域在住障害者の受入、健康・バイタルサインチェック、居室・トイレ整備等の準備・運営に積極的に取り組んだ。</p> <p>また、学外での病院臨床実習では実習指導者や患者様から高い評価を得ている。今後は、医療従事者として適切なりハビリテーションの提供ができる人材として、益々の活躍が期待される。</p>
2	神田外語大学 外国語学部 英米語学科	さいとう しょうた 齋藤 正太	<p>千葉市「まなびフェスタ」において、複数回にわたり、幕張南小学校での講師ボランティアとして積極的に取り組んだ。</p> <p>また、「英語で楽しむ親子おはなし会」（打瀬公民館実施）では、読み聞かせボランティア活動に参加する等、自身の語学能力を活かして、千葉市の初等教育活動に貢献した。</p>
3	敬愛大学 国際学部 こども教育学科	たなか まりこ 田中 麻莉子	<p>本学公認団体「教育ボランティアサークルIris」に所属し、Iris主催・千葉市共催「水祭り」（小学生対象）を企画・立案し、イベントの成功に導いた。</p> <p>その他、千葉市選挙管理委員会から本学に協力依頼があった「小学生を対象とした模擬選挙」に参加し、仮の市長候補者として、小学生に演説・スピーチを行った。</p>
4	淑徳大学 看護栄養学部 看護学科	くろだ みく 黒田 美玖	<p>地域医療に関心を持っており、千葉市の地域包括支援センターの機能や役割、他職種の専門性と連携について学びを深めた。さらに、千葉市の地域包括ケアシステムの今後の在り方について検討し成果の発表を行った。</p> <p>また、2年次より下級生の大学生活全般の様々な不安を解消し、円滑な大学生活を導くための支援を行うこと等、学内の活動にも積極的に貢献した。</p>
5	千葉大学 教育学部 小学校教員養成課程	ぐんじ ひなの 郡司 日奈乃	<p>4年間にわたり、千葉市・千葉大学連携キッズ・アントレプレナーシップ教育事業「西千葉子ども起業塾」に運営スタッフとして参画し、うち2年間はプロジェクトリーダーとして企画全体の統括を行い、同事業を通じて市内小学生の起業家精神向上に寄与した。</p> <p>また、新型コロナウイルス渦における同事業のオンライン開催にも多大なる貢献を行った。</p>
6	千葉経済大学 経済学部 経済学科	やまなか りく 山中 陸	<p>3年次には「千葉の親子三代夏祭り」や「稲毛区民まつり」でのボランティア、4年次には本学ボランティアセンターによる募金活動に尽力した。</p> <p>また、3年次・4年次に渡って「西千葉子ども起業塾」や「こども若者市役所（CCFC）」において、他大学の学生や行政と協力しながら積極的に活動を行い、地域活性化に貢献した。</p>
7	千葉県立 保健医療大学 健康科学部 歯科衛生学科	やまがた ななみ 山形 七海	<p>学内の「お口の健康守り隊」のサークル長として活動した。千葉市内のUR住宅で実施している「オーラルフレイル予防プログラム」へ参加し、地域の高齢者と積極的に交流し高齢者の健康増進に貢献した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、サークル活動の中止が続く中、「千葉市お口の健康ボランティア」として、SNSを活用した歯科保健に関する情報発信、周知啓発に尽力した。</p>

8	東京情報大学 総合情報学部 総合情報学科	やえがし しょう 八重樫 祥	本学と千葉市との協働で行われたPR動画制作（「千葉市のグリーンツーリズム～サジナの休日編～」）では、ディレクターを務め、若葉区を中心に緑豊かな里山の風景の魅力を伝えた。 また、所属している映像ゼミでは、2019年の若葉区民まつりにおいて、子ども向けのヒーローショー（映像ライブコンテンツ）の演出・台本・司会を担当し、来場した多くの子どもたちを楽しませた。
9	植草学園短期大学 福祉学科 児童障害福祉専攻	あさひ あんり 旭 杏梨	千葉市内の複数の特別養護老人ホームにおける活動、本学が実施している地域清掃活動等、様々なボランティア活動に積極的に参加した。 また、全ての授業に熱心に取り組み、成績も優秀な成績を修めた。ゼミナールにおいても広い視野から考えることができ、学外の幼稚園、保育園、障害者施設における全ての実習にも真摯に取り組み、高い評価を得た。
10	千葉経済大学短期大学部 ビジネスライフ学科	まえだ まい 前田 舞	「千葉の親子三代夏祭り」のボランティアに積極的に参加し、社会に貢献することの重要性を持ち合わせている。そのうえで市民の健康な生活に携わる医療事務に従事すべく勉学に励んできた。 所属学科においては、上位の学業成績を修め、医療事務の資格も優秀な成績で取得し、他の学生の模範となっている。
11	千葉明德短期大学 保育創造学科	しのだ りょうか 篠田 涼楓	本学生は、高校時代から3年間「こども若者市役所（CCFC）」のイベント等に参加し、千葉市のまちづくりに貢献した。 また、少人数のゼミでは率先して発言して理解に努めるとともに、ゼミ長としてゼミ運営に尽力した。担当教員に積極的に質問して疑問の解消に努める等と、他の学生の模範となっている。
12	帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 柔道整復学科	ひろさわ つよし 廣澤 剛	2018年千葉県総合スポーツセンターで開催された「ちばスポーツ夢フェスタ2018」（千葉市教育委員会後援）では、パラスポーツ種目体験をはじめ、ボランティア活動に尽力した。 また、第30回千葉県ベンチプレス大会59kgジュニア級で優勝、同年12月第20回ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会で3位の成績を修めた。さらに、学科内では、リーダーシップを発揮し、他の学生の模範となっている。